

## 著者紹介

**瀬川 昭夫 Segawa Akio**

愛知医科大学泌尿器科教授。医学博士。  
昭和28年名古屋大学医学部卒業、29年名古屋大学医学部助手(泌尿器科学)、35年同講師、38年文部省長期海外研究員(ニューヨーク・コロンビア大学留学)、48年愛知医科大学泌尿器科教授。33年日本泌尿器科学会より坂口賞受賞。38年ニューヨーク・コロンビア大学にて尿路性器結核の研究、48年より尿路性器腫瘍の実験的・臨床的研究、尿石症の基礎及び臨床的研究、尿路感染症の研究。専門分野：泌尿器科学。日本泌尿器科学会、日本癌治療学会、日本癌学会。

**鈴木 孝彦 Suzuki Takahiko**

国立療養所豊橋東病院循環器内科医長。  
昭和48年岐阜大学医学部卒業、48年同第二内科入局、50年市立美濃病院内科、51年東京女子医大心研内科、58年現職。専門分野：血行動態全般・静脈系コンプライアンス、虚血性心臓病・Interventional cardiology。日本内科学会、日本循環器学会、日本心臓病学会。

**岩田 久 Iwata Hisashi**

名古屋大学医学部整形外科助教授。医学博士。昭和37年名古屋大学医学部卒業。44年名古屋大学医学部助手(整形外科)。46年カリフォルニア大学ロスアンゼルス校留学。55年名古屋大学医学部講師。57年より現職。名古屋大学大学院時代、理学部生物化学教室にて軟骨プロテオグリカイン代謝、留学時代に骨形成機序の研究を行う。専門分野：慢性関節リウマチ、変形性股関節症、大腿骨頭壊死、骨粗鬆症について・その病態と治療。日本整形外科学会、Orthopaedic Research Society(米国)、日本リウマチ学会。

**戸荊 創 Togari Hajime**

名古屋市立大学医学部小児科助教授。医学博士。昭和45年名古屋市立大学医学部卒業、45年同小児科入局、52年米国ワシントン国立研究所留学、53年米国ウイシコンシン大学留学、58年名古屋市立大学医学部小児科講師、60年米国ブラウン大学留学、平成2年名古屋市立大学医学部小児科助教授。専門分野：新生児学。日本小児科学会、日本新生児学会、日本周産期学会。

**岡田 達郎 Okada Tatsuro**

「明日の臨床」編集委員長、愛知保険医協会社保学術部部員、岡田クリニック院長。医学博士。昭和33年岐阜大学医学部卒業、社会保険中京病院にてインターン修了、34年4月名古屋大学医学部第一外科学教室に入局、大学の命により常清市民病院外科勤務、40年9月より医学部において腫瘍学の研究をする。43年1月博士号を授与される、43年6月豊田市立病院外科医長となる。45年12月岡田病院を開設。専門分野：担癌宿主における抵抗性について。日本外科学会、日本癌学会、日本皮膚科学会。

**竹中 倭夫 Takenaka Shizuo**

医療法人名南会理事長。医学博士。昭和27年3月名古屋大学医学部卒業、28年4月名古屋大学第二外科入局、34年6月公共済東海中央病院外科、37年1月千田病院、42年4月名南外科診療所(18床)開設、49年7月名南病院(24床)院長、60年5月名南病院(132床)理事長。専門分野：Congenital Megacolonの臨床、門脈圧亢進機序、手・指の外科、現在“地域外科学”を提唱。日本外科学会、東海手の外科カンファレンス。

**山田 靖幸 Yamada Yasuyuki**

なごや国際産婦人科内科院長。医学博士。昭和47年金沢大学医学部卒業・米国ECFMG免許取得、54年英国政府留学によりLondon St. Bartholomew病院・英国医師登録、55年エール大学病院勤務・米国連邦医師免許取得、56年ハーバード大学Massachusetts General病院勤務・米国不妊学会登録医師、63年現職。専門分野：産婦人科、内科、小児科。米国不妊学会、日本内分泌学会、日本内科学会。

**國島 和夫 Kunishima Kazuo**

愛知県がんセンター胸部外科部部長。医学博士。昭和29年名古屋大学医学部卒業、29年名古屋鉄道病院にてインターン、34年名古屋大学大学院修了、同第二外科入局、51年愛知県がんセンター。専門分野：肺癌の外科。日本肺癌学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会。